



令和5年10月 大和田とちのき保育園 栄養士 喜多島朱里

10月は季節の変わり目で寒暖差があり、体調を崩しやすくなります。

秋は炭水化物が多くなりがちなので、野菜やきのこもバランスよく食べましょう。また、スポーツの秋ですからしっかり運動をして健康的な体作りをしましょう。



# 三食を決まった時間に きちんと摂る

幼児の毎日の食事は、朝食3:昼食3:間食1: 夕食3の割合が望ましいとされています。また、 決まった時間に食べることで、体内リズムが整います。特に朝食をとると、寝ている間に下がった体温を高める働きがあり、1日を元気に過ごすことができるでしょう。また、間食となるおやつは子どもの楽しみでもあります。100~200kcal を目安に、なるべく栄養になるものを用意しましょう。



#### 赤・黄・緑に分けて バランスのよい食事を

三色食品群を参考に、1食につき各食品群から 2種類以上選ぶようにして、1日で30品目を 食べるように心がけましょう。

- ◆赤色群…主に主菜。たんぱく質(体をつくる) ⇒肉、魚、卵、牛乳、豆など
- ◆黄色群…主に主食。糖質・脂質(エネルギー源になる)

⇒米、いも類、パン類、油など

◆緑色群…主に副菜。ミネラル・ビタミン (体の調子を整える)

⇒野菜、果物、きのこ類など



### 秋の味覚を楽しみましょう

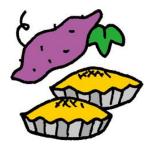
「実りの秋」と言われるように、秋は新米、なす、さんま、りんご、ぶどう、くり、なし、まつたけなど、おいしい食べ物がたくさん出回る季節です。旬の食材を知って味わうことは、食材への興味が増し、味覚形成にも役立ちます。

## <u>スイートポテトづくり</u>

10月 19日にあお組さんがスイートポテトを作ります。 さつまいもがおいしい季節なのでぜひおうちでも作って みてください♪

#### \*アルミ8号10個分

- ・さつまいも 200g
- バター 10g
- 砂糖 10g
- 牛乳 10g
- 卵黄 (つや出し用)
- 黒ゴマ 少々



- ① さつまいもを輪切りにし、水に5分程度さらす。
- ② さつまいもを蒸す。(耐熱皿にいれラップをし、レンジで柔らかくなるまで加熱する。)
- ③ 柔らかくなったさつまいもを潰してバター、砂糖、牛乳を入れる。味見をして砂糖を調整する。(柔らかくなりすぎないように牛乳はすこしずつ入れて調整する)
- ④ 成形しアルミカップに乗せ表面に卵黄を塗りつや出しをして黒ゴマを少しのせる。
- ⑤ トースターで焼き色を付けて出来上がり。(焦げやすいので注意)





バケツ稲作りに挑戦中のあお組の子どもたち。

芽出し ⇒ 真っ黒になった土づくり ⇒ 苗の移しかえ⇒ ぐんぐん成長 ⇒ もう少しで稲刈りできるかな・・・

っというところまで大きく育ちました!!

#### 毎日お水をとりかえて、 大切に育てました。







#### 自分で育てた苗を移しかえ・『





立派に育ってるよる



